



代表質問する風見区議 (= 7月16日)

公約実現へのプロセスを明らかにせよ

第二回定例区議会は、七月十四日から二十三日まで開かれました。新区長になって初めての施政方針に対する代表質問を風見議員が行いました。以下に大要を掲載します。(裏面もお読みください)

風見利男 (日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結ぶ

114

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

しんぶん赤旗

日刊●月2,900円 日曜版●月 800円

Eメール kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
ホームページ http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

区長の選挙での公約の実現について

(風見) 武井候補は、「特別養護老人ホーム待機約三〇〇名をゼロにする」と約束している。民間任せでなく、どう実現するのか、明らかにすべき。

(区長) 新橋六丁目の特養などの早期完成をめざすと

ともに、基本計画の前倒しを含め、速やかに実現する。(風見) 「保育園待機児約一〇〇名をゼロにする」と約束した。高い保育料、入園料が必要な認証保育所など民間任せでなく、港区の責任で、どう実現するのか、明らかにすべき。

(区長) 区立保育園の改築、改修による定員の拡大や弾力化を進めている。認証保育所の設置を推進している。待機児数は減ってきているが、今後も待機児ゼロをめざす。

(風見) 「小売業年間販売額 約六九五〇億円(平成十四年度) 約八〇〇億円にする」と約束し

職員に「区民の中へ...」

でも実践するため、中小企業・商店がいま何を求めているのか、区民が求めているのか、区民が求める中小企業施策を実施するために、部課長を先頭に全管理職が、すべての中小企業・商店を訪問し、意見を聞き、それを中小企業施策に活かすべき。

(区長) 区内には四万を超える事業所があり、業種も多種多様なため、すべての事業所を訪問して、実態を把握することは困難。

低廉な区民向け住宅政策について

(風見) 旧神明小学校跡地の住宅建設について

清水建設に任せるやり方では、家賃が三十二万円にもなる。子育て世代が住めるような低廉な家賃の住宅にするため、港区が主体となった方式で建設すべき。

(区長) 当初の方針に沿って事業をすすめる。

区民向け住宅の建設は、旧神明小跡地の計画を最後とする。今後は、都営住宅の移管受け入れなどにより、区民向け住宅を確保する。

なとせにもアンケートを実施すべき。

(区長) 区政モニター等を対象にしたアンケートの他、公報みなどやホームページ等、多くの機会をとらえて意見を聴き、陳情・請願をされた内容を精査し、見直しに反映することを考えている。

(風見) 紛争予防条例・ワンルーム建設指導要綱の改正にあたっては、これまでわが党区議団が提案してきた内容、先進自治体の取り組み、区民意見を十分取り入れ、紛争が発生しないような改正を。

(区長) 紛争予防条例は、建築主の責任を明確にし、計画の事前公開や話し合いによる自主解決を促す仕組みとなるよう見直しをする。ワンルーム指導要綱の条例化については、住宅の質や形態、管理面等の規制を強化するとともに、地域コミュニティにも配慮した

り良好な住宅を誘導できるように検討する。

(風見) 建築紛争相談担当を増やし、確認事務を行う建築課から独立させるべき。

(区長) 取り組みを強化するとともに、組織体制も含め検討する。紛争に関する内容は、計画や工事にかかわる内容が多く、技術的・法的な判断を含め、建築課で対応することが適切だと考えている。

三十人学級の早期実施について

(風見) 三十人学級はすでに四十二道府県で実施されており、児童・生徒も学校も、父母も大歓迎している。港区でも芝小小学校で少人数教育としての研究もはじめている。どの子もわかる教育をすすめるために、港区として三十人学級、少人数学級編成を行うべき。

(区長) 教育委員会ですら議論されているものと考えます。その検討状況を踏まえて対応する。

(教育長) 区独自の正規職員の採用は、給与負担の法的位置付けや任命権等の問題から現時点では困難であり、引き続き研究課題と考えている。

(風見) 国として三十人学級にするよう、東京都として三十人学級にするよう意見をあげること。

(教育長) 他の道府県の状況を十分見定め、必要に

建築問題をめぐる紛争の未然防止について

(風見) 紛争予防条例、ワンルーム建設指導要綱の改正にかかわる区民アンケートについては、区政モニター・協力員だけでなく、今まで建築紛争にかかわった人、口頭も含め陳情者・請願者

ととともに、組織体制も含め検討する。

(風見) 建築紛争相談担当を増やし、確認事務を行う建築課から独立させるべき。

(区長) 取り組みを強化するとともに、組織体制も含め検討する。

と十分に

なんでも相談会

毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館 2階講習室Aを予定(8月はお休みです) 事前にご連絡いただくと幸いです。

連絡先...風見宅 3405-9294 控室 3578-2945

じ、国へ要望する。今後の推移を十分見極め、必要に応じ東京都へ要望する。

図書館の民間委託を行わないこと

(風見) 区政モニター・協力員だけの意見をもとにした来年四月の民間委託実施を白紙に戻し、広く区民の意見を聞き、利用者本位、区民がもっと利用しやすい図書館をめざすこと。

(教育長) 今後、サービス向上に向けての、施策を進める上で、区民の方々の意見を十分伺いながら進めていく。

風見区議はその他に 区長選挙について、人事政策について、無認可保育所の消費税課税問題について、熊田区議が、乳がん健診の無料化と区内医療機関での健診を、介護保険ホームヘルプサービスの3%、6%の継続と対象の拡大、民間賃貸住宅家賃の助成事業の継続を、高齢者の住み替え家賃助成事業を現行のまま軽減継続を、などについて質問しました。



コミュニティバス 十月一日から運行

シルバーパス利用者等に無料パス支給

党区議団の提案が実る



導入予定のコミュニティバス

しかし、シルバーパスを購入していない方は対象になっていません。党区議団は、シルバーパスの対象者で、希望する人への無料パスの支給、乗り継ぎ券の発行など要求しています。

コミュニティバスは、運行業者も決まり、十月一日運行にむけて準備がすすまられています。

運行されるのは、田町駅から六本木ヒルズの往復路線と、赤坂支所〜青山一丁目〜桜町小学校〜六本木〜六本木ヒルズ循環路線の二路線です。運賃は一〇〇円です。

都バスの廃止によって高齢者や障害者の足が奪われた地域は、この二路線だけではカバーできません。引

風見区議の提案が実る

旧のぞみの家跡地の返還で六千五百万円の節約実現

東京都が青山橋の補強工事を行うことから、旧のぞみの家跡地を返還するにあたり、基礎杭の撤去を求められています。

風見区議は、基礎杭を撤去しない方が安全面でもよい、余分な費用をかけなく杭をそのままにして返還できよう、東京都に要請するよう質問・提案してきました。

区の担当者も再三東京都に要請、昨年の十月三日付で都知事に対し、基礎杭撤

き続き、みなさんの足の確保のため、コミュニティバス路線の拡大にむけがなばります。

「無料乗車券の発行対象者」

シルバーパス所持者、

身体障害者手帳所持者、

愛の手帳所持者、 原爆

被爆者、 戦傷病者、 精

神障害者手帳所持者、 児

青山墓地への避難路

ガードレールが取り外し可能に

青山墓地は災害の際の広域避難場所になっています。

南青山・西麻布側からの避難階段が設置されています

が、外苑西通りのガードレールが固定式のため、避難路としての機能が果たせませんでした。

風見区議は、以前からの改善を要求していました。最後に残っていた南青山2丁目側のガードレールが取り外しできるよう改善されました。

* 青山墓地の避難階段



青山陸橋と旧のぞみの家跡地

り、基礎杭の撤去を求められています。

風見区議は、基礎杭を撤去しない方が安全面でもよい、余分な費用をかけなく杭をそのままにして返還できよう、東京都に要請するよう質問・提案してきました。

去は、青山橋橋脚への影響、営団地下鉄への影響等々から基礎杭はそのままにして返還したい旨の「区の残置物件をお願いについて」との文書を提出していました。東京都から三月十五日付でそれを承認する旨の「残置承認書」が届きました。

これによって、杭の撤去費用六千五百万円が節約されました。



* 青山墓地の避難階段